

令和8年度 シラバス

教 科	地理歴史	科 目	世界史探究	学 年	第3学年	学 科 類 型	普通科文系
単位数	2 単位	教科書	詳説世界史（山川出版社）				
副教材	グローバルワイド最新世界史図表（第一学習社）、新世界史要点ノート（応用編）（啓隆社）						

学習目標	1 世界の歴史の展開を、様々な資料に基づいて、地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察します。 2 社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指します。
------	---

キャリア教育の視点	歴史上の様々な人物の生き方について、時代背景などを踏まえて考察することにより、自己の生き方や役割、将来設計を考えることにつながります。 また、宗教や民族をめぐる紛争、科学技術の利用の在り方などの諸課題について、歴史的な背景を踏まえて考察することで、課題に対応する力を養います。
-----------	--

		学習計画及び内容		考 査
1 学 期	4 月	第11章 近世ヨーロッパ世界の動向	近世・近代のヨーロッパ世界を、他の地域の動向と関連付けて考察し、総合的に捉えて理解する。	中間 考査
	5 月	第12章 産業革命と龐大西洋革命		
		第13章 イギリスの優位と欧米国民国家の形成		
	6 月	第14章 アジア諸地域の動揺	アジア諸地域における、ヨーロッパ諸国の進出の影響を多面的に考察し理解する。	期末 考査
	7 月	第15章 帝国主義とアジアの民族運動		
	第17章 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成			
		第18章 冷戦と第三世界の台頭		
2 学 期	8 月	第19章 冷戦の終結と今日の世界	現代の世界の諸課題について多面的・多角的に考察して理解する。	中間 考査
	9 月			
	10月			
	11月			
	12月			
				期末 考査
3 学 期	1 月			
	2 月			
	3 月			

学習の方法	板書を写したり、ノートの空欄に用語を記入したりするだけでなく、歴史の流れや事象の関係を理解しながらまとめることが大切です。年代や用語の確認にとどまらず、教科書や資料集の図版を参考にして、学習を深めてください。
-------	---

評価の仕方	評価の観点（「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」）に即して、定期考査の得点と平常点で算出します。 平常点は、課題への取組、提出物の状況、授業に取り組む姿勢などで評価します。
-------	--

備考	週当たり4時間単位で、4月から8月まで延べ70時間実施します。
----	---------------------------------